



目次	
就任挨拶	1
退任挨拶	1
退職校長会総会報告	2
会務報告	2
役員名簿	2
全連退総会報告	2
生き生きライフ	3
現職校長会情報	4
題字	19年度入会 杉浦光子 (元 安城・桜町小)
絵	22年度入会 中川克夫 (元 新城・東郷中)

就任あいさつ



「絆」への願い

新会長

安藤 公明

去る三月十六日、平成二十四年度の総会で会長という大役を仰せつかりました。もとより微力な身でございますので役員や会員皆様のお力添えをいただき会の運営を図ってまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ところで、東日本大震災から一年三か月が経ち、一日も早い復興や諸課題解決への期待は言うまでもありません。そして、昨年は、「絆」のもとに、国内はもとより世界各地から被災地への思いを共有し多くの支援活動が行われ、現在も続けられております。

翻って本会における「絆」はと考えると、とくに、会員相互の絆、現職校長会との絆が挙げられると言えます。

本会も七年会員制に移行して十年を迎え、会員数も千七百名ほどに拡大してきました。会員数の拡大を受けて、会員に親しまれ、より相互のつながりのある活動、そして、県と地域とのつながりのある活動かと言えます。

一つ目の会員相互のつながりでは、会報の充実でした。従来の会報より紙面・ページの拡大、カラー刷りにし、会員の声の掲載面を充実しました。「生き生きライフ」での会員各位の充実した生き方の紹介は、多くの会員各位の関心と親しみを得ております。今後も、会員相互の絆強化の会報に努めてまいりたいと考えています。また、県校長会との情報交換を通して現職の方との絆を強め、側面支援を考えていきたいと思っています。

二つ目の地域とのつながりでは、現在、各地域の支部・地区の状況も多様であり、難しい課題ではありますが、半歩でも前進できるよう努めたいと考えております。

県退職校長会が会員同士の絆と県と地域との絆がよりいっそう強まるよう会員の皆様方のご理解・ご支援を心からお願いいたします。

退任あいさつ



転機に想う

前会長

内田 久幸

七巡目の辰年、本会の昇竜を願い役員を退任いたしました。永年にわたりご支援いただきました会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、本会は、昭和四十一年に公立高校と共に、「愛知県退職校長会」として発足しました。ところが、諸般の事情・諸先輩の将来展望により、平成五年に分離独立し、本年二十年の節目を迎えました。

この間、平成十三年より常任理事・正副会長の任に就きましたが、年を追うごとにある光景が印象強くなってきました。それは、広い水田に植え付けられ育った一株の稲と、それに付かず離れず漂う大小のかたまりや単独の浮草の模様です。

様です。

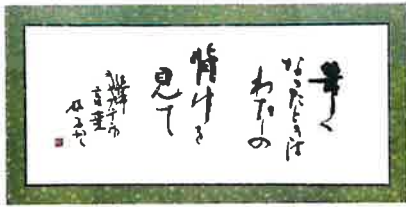
二つの関係につきましては、紆余曲折し今日に到っています。私の任期中に印象に残っていますことは、

- 組織の拡大と会員増(15年)
- ・会員期間三年から七年へ
- 活性化小委員会設立(19年)
- ・会報の刷新と内容の充実
- 会員の明確化 (21年)
- ・県内退職校長入会者終身
- 退職校長会会員名簿作成 (22年)
- 支部・地区の組織確認 (23年)

・聞き取り調査実施
以上の五点です。これらの経緯を経て、東日本大震災を機に、二つの連携の在り方が一気に浮上し、本格的検討に入った次第です。

子どもは地域の中で生活し、強い影響を受けて成長し続けるのです。教育に携った組織の一員として、地縁と好縁を心に秘め、地域への奉仕や学校支援活動に力を注いでいきたいものです。

会員ひとり一人が、小さな存在を輝かせて、「キラッと生きる」場を設定し、未来の宝を育てることを願いつつ、お礼のごあいさつとします。



苦あれば喜びの楽しみ

19年度入会 安藤 好子
(元 名古屋・野立小)

の実物を見せて、情報が磁気的に記録されていることを説明すると「そうだったのか。」とうなずく受講者。具体的に理解してもらえたようです。パソコンを使う必要ができたけれど、良く分からないという人が結構います。そのような人にちよっとお手伝いのボランティア活動が、私の生きがいになっています。

なでしこジャパンの活躍と感動は、記憶に新しい。絶対の信頼と尊敬を得るに足る自信と力のあるリーダー。

彼女ならではの強い意志の発言に驚き、わが身を顧みたら。足元にも及ばぬが、憧れる。そんな思いを、飾らない素直な文字に託してみ

背中を

今春の社中展で発表することができた拙作である。筆を持ち、遊ん

初めて！

20年度入会 榊原 和代
(元 半田・半田小)

「初めて！」のことにドキドキします。初めて知ることが多く、ついつい、「初めて！」が出てしまします。

先輩の方々と出かける旅にはドキドキが満載です。大鹿村で出会った青いケシもその一つです。前夜の雨が上がり、朝霧の中で出会った青いケシに旅の仲間全員「きれい！初めて見た！素敵だね。」と感嘆の声をあげました。ヒマラヤンブルーは忘れられない、初めての色でした。

桂林への旅も先輩の誘いの電話から始まりました。私にとって中国自体、初めてです。見る物・聞く物、全て「初めて！」です。「えっ？」というものもありましたが、



南アルプスの青いケシ (大鹿村)

楽しい旅でした。

最新の初めては、オガタマノキとの出会いです。招霊の木と書き、古くから神木として植えられているそうです。

「初めて！」は何だか得した気分になります。今後とも「初めて体験」を求めていきます。

孫や草を相手に

21年度入会 石田 範子
(元 豊川・豊川小)

このコーナーの原稿依頼をいただいた時、「会報に先輩方が紹介されているような趣味、音楽も美術もスポーツも、私には何一つありません。家事と畑仕事、孫三人の世話で、あたふたと毎日を送っているだけですから……。」とお断りしました。けれども、「家族に必要とされて一日が過ぎ

る、それこそ生き生きライフじゃないですか。」と、うまいこと説得されてしまいました。まだ現役の主婦と、働き盛りの娘夫婦、小学校と幼稚園に通う孫三人、そして私、家族七人のスケジュールがびっしり書き込まれたカレンダーが、台所に貼られています。宿題、持ち物、お稽古事、それから病院通い……。朝起こすことから、布団の中での読み聞かせまで、お祖母ちゃん

の体はフル回転です。庭は花を楽しむより草を取るのに追われ、畑も作物を作るより草刈に追われる始末です。

「これからは、大好きな花や孫を相手に、のんびりと暮らしたいと思っています。」と、退職の葉書に書きました。そんな心のゆとりは何処にか去り、孫や草と格闘の日々が続いています。ぐんぐん成長していく幼子や雑草から「生き生きライフ」を貰っているのかも知れませんね。

写真の楽しみ

21年度入会 川口 幸一
(元 名古屋・御剣小)

退職後も、時々旅行に出かけたり撮影会に参加したりし

て写真撮影を楽しんでいる。写真は、誰にとっても、思い出のこもった大切なものである。

私が初めて写真を撮ったのは十歳のときで、お年玉で買った小さな「スタートカメラ」で母を撮った。仕上がった写真を見たときの感動は、今も心に残っている。

そして、十二歳のとき叔父から使い古した大きな6×6版の「オリンパス6」をもらいこづかいが貯まると写真を撮ったものだ。

教員になってからは、児童の生き生きとした姿を、折に触れ撮ってきたが、昨年三十七年間撮りためたものを、写真集「学び舎の子どもたち」としてまとめた。

最近、担任した年度ごとにDVDアルバムにまとめ、教え子に送付を始めている。

今後は、様々な新しい撮影をしつつ、テーマ別に写真を整



「やったー！新記録！」S49撮影写真集「学び舎の子どもたち」より

理し、写真集制作を楽しんで
いきたい。

見えていなくて 見えていなかったもの

24年度入会 新海 弘康
(前 豊明・栄小)

四月。「お疲れ様でした。」
家族からのねぎらいの言葉と、
規則正しい生活からの解放で
気が緩み、生活習慣の乱れは
正直に腹回りに表れた。

五月。何かをやらねばと思っ
ていた矢先に、父親から畑仕
事を頼まれた。今の私の生活
を考えたら断る理由は見当た
らなかった。しふしふ、ホー
ムセンターで購入した麦わら
帽子や長靴を履いて畑に出掛
けた。

最初の頃は、わずか一時間
の作業でも疲れは並大抵では
なかった。しかし、したたり
落ちる汗、水やりや施肥の後
の野菜の成長には、今までに
ない満足感や達成感を感じた。
畑仕事も「育てる」点で教育
に通じるものがあり、父親の
苦勞も良くわかった。また、
自家製の野菜で食卓を囲みな
がらの家族の会話に、改めて
家族団欒の必要性を感じた。
さらに、今まで会話を交わし
たことがなかった近所の方々
との会話が増えたりもした。

畑仕事を始めて二か月が過
ぎ、私が蒔いた「ささげ」と
「枝豆」の芽が出た。野菜の成
長と収穫の楽しみとともに、
今まで見えていなかったもの
がいろいろ見えてきそうな気
配がする。

今日も、近所の方の「精が
出ますね。」の何気ない言葉
に温かさを感じた。

現職校長会情報

平成二十四年度総会が、五
月十五日(火)、中京大学文化
市民会館にて開催され、次の
活動方針が採択されました。

- ①学習指導要領の趣旨を踏ま
えた教育課程の編成・実
施・評価・改善
- ②確かな学力、豊かな心、健
やかな体の調和を重視する
教育の推進
- ③学校の自主性・自律性の確
立と家庭・地域社会・関係
機関等とのつながり・協働
の強化
- ④確固たる経営方針に基づ
く学校経営の礎となる教育諸
条件の整備・充実
- ⑤安全・安心な教育環境づく
りの推進と防災教育の充実
- ⑥校長の一層の研鑽と教職員
の資質・能力の向上を図る
研修の充実

平成二十四年度

愛知県小中学校長会 役員・理事一覧(敬称略)

●会長	東 坂野 重法(東桜小)
●副会長(五名)	岡崎 岡田 豊井田小
稲沢 仁科 正二(祖父江中)	
一宮 木村 博彦(木曽川西小)	
西 寺崎 敏博(菊井中)	
岡崎 鈴木 栄二(矢作北中)	
●監査(三名)	西 丹羽 政雄(比良小)
みよし 今瀬 良江(黒笹小)	
海部 今井 雅良(蟹江中)	
●庶務理事	熱田 長坂 和哉(白鳥小)
東 関口 大介(富士中)	
田原 花井 隆(野田小)	
刈谷 金原 宏(刈谷南中)	
江南 岩田 正武(布袋小)	
春日井 森 乙平(中部中)	
●会計理事	東 大矢 芳久(旭丘小)
熱田 稲熊 和己(日比野中)	
碧南 北村 恒(鷺塚小)	
幸田 伊藤 映充(幸田中)	
東海 加藤 千博(加木屋小)	
日進 久保田 力(日進西中)	
●専門委員会・部会理事(十四名)	法制 三竹 清一(福江小)
教育条件 藤井 鵠(梅坪台中)	
学校経営 吉川 範行(清水小)	
進路 野澤 和彦(大曾根中)	



平成24年度 第66回 愛知県小中学校長会総会

保健体育 武田 孝薫(六輪小)	
福祉安全 日比野 博(高森台中)	
給食 迫田由喜代(岡田小)	
生徒指導 河野 恒広(昌ヶ丘小)	
特別支援 加納 勝彦(朝日丘中)	
広報 澤田 義宗(道徳小)	
修学旅行 鈴木 正七(益富中)	
教育課題 佐々 有三(門第山小)	
愛知大会 山内 雅夫(川原小)	
東陸大会 溝口 哲夫(師勝中)	

訃報 (内は逝去された日)
堀田 道夫先生(二十四・一・五)

元 豊橋市立東田小学校

吉兼 洋一先生(二十四・二・二七)

元 名古屋市立楠西小学校

梅村 伸二先生(二十四・五・一)

元 名古屋市立上野小学校

山田 翔治先生(二十四・五・一)

元 名古屋市立大森北小学校

佐竹 一郎先生(二十四・六・二)

元 豊川市立一宮南部小学校

※県校長会事務局連絡分

ご逝去されました皆様のご冥福をお祈りいたします。

事務局だより

執筆していただいた皆様には、短期間にもかかわらずご理解・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

事務局は、七月一日より、前事務局長の井上唯明が退任し、新次長として前名古屋市中川小学校長浅野隆義が着任しました。事務局一同さわやかな対応を心がけてまいります。

○事務局長 藤澤 修一

○事務次長 林 正美

○事務次長 浅野 隆義

○事務局員 加藤美津代

愛知県退職校長会事務局

名古屋市中区新栄一丁目

愛知県教育会館六階

愛知県小中学校長会事務局内

電話 〇五二二六二八二五二

FAX 〇五二二六二八〇七

E-mail ai-kocho@axel.ocn.ne.jp